Printed in China　TCAUZA027KKRZ　18D-　③

SHARP®

空気清浄機　天井設置型

据付説明書　形名 FP-AT3

（エフ ピー　エイ ティー）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この据付説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく据え付けてください。
ご使用の前に取扱説明書の「安全上のご注意」も併せて必ずお読みください。
この据付説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

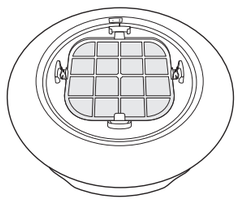
この製品は業務用には使用しないでください。

⚠ 警告

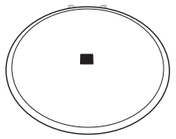
- 本製品は屋内の交流 100V の配線器具 (引掛ローゼット/引掛シーリング) 取り付け専用です。製品重量 (約 8.5kg) に耐えるよう、配線器具の取り付け強度を十分に確認してください。
- 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷につきましては、当社は責任を負いません。
- 取付金具を取り付ける際は、ハウスメーカーまたは工務店に取り付け可能な天井であるかをご確認のうえ、販売店または工事店に取り付けをご依頼ください。場合によっては天井の補強工事が必要になります。
- 安全のため、電源 (壁スイッチなど) を切ってから、作業をおこなってください。

各部のなまえ

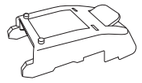
本体
(集じん・脱臭一体型フィルター内蔵)



フロントパネル



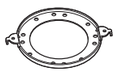
コネクターカバー



アダプター / コードケース

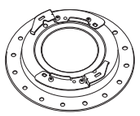


取付金具



※アダプター / コードケースと取付金具は本製品専用です。本製品以外の用途には使用しないでください。

本体吊下金具



ネジ (2 本)
(本体吊下金具専用特殊ネジ)



スペーサー



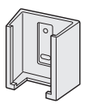
ゲージ



リモコン



リモコンホルダー



乾電池 (2 本)
(リモコン用)



使い捨てプレフィルター



マジックテープ
(10 片)



印刷物付属品
(各 1 部)
- 据付説明書 (本書)
- 取扱説明書
- 保証書

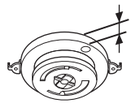
配線器具の確認

本製品を据え付けるために、天井の配線器具のハンガーまたは付属の取付金具を使用します。以下をお読みのうえ、天井の配線器具を確認してください。
(配線器具が天井に設置されていない場合は取り付けできません)

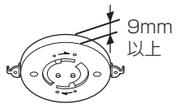


①そのまま使用できる配線器具

フル引掛ローゼット



引掛埋込ローゼット



②付属の取付金具が必要な配線器具 (※取付工事が必要です)

丸形引掛シーリング
(直径 6.5cm 以下)



丸形フル引掛シーリング
(直径 6.5cm 以下)

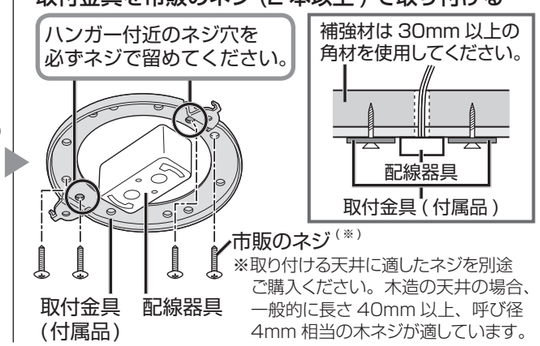


角形引掛シーリング



取り付けについて必ず上記「警告」もお読みください

天井の補強材のある場所に、取付金具を市販のネジ (2 本以上) で取り付ける



●別の取付金具が取り付けられている場合は、付属の取付金具に必ず交換してください。
●配線器具が取付金具のほぼ中央にくるように取り付けてください。取付金具の端の方にくると、アダプターを取り付けることができない場合があります。

③使用できない配線器具の例

上記①②以外の配線器具には取り付けできません。
販売店または工事店に配線器具の交換をご相談ください。

- 埋込ローゼット



- 電源端子露出タイプ

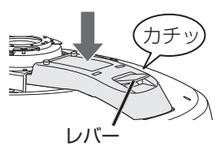


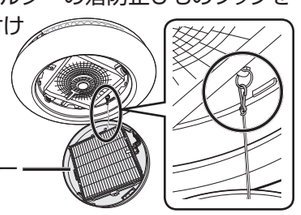
- 上記①②のタイプで直径が 6.5cm より大きいものと、天井からの出しろが 9mm 未満のもの

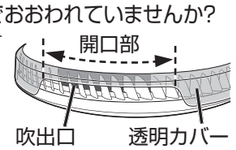
据付チェックシート

	項目	チェック欄
1	製品重量 (約 8.5kg) に耐えるよう、配線器具の取付強度を十分確認しましたか? ⇨「安全上のご注意」の【警告「据付場所」】	
2	取付金具を使用した場合、補強材のある場所にネジを取り付けましたか?	
3	ハンガー付きの配線器具を使用する場合、付属のゲージを当てて確認しましたか? ⇨ 裏面「据え付けかた」の【手順 2-1】 ゲージがハンガーを通過しない場合は、本体吊下金具に付属のスペーサーを取り付けましたか?	
4	本体はがたついていませんか? (本体を左右に少し回して、本体が動かないことを確認する) U 形金具が本体吊下金具に入っているか確認してください。 ⇨「据え付けかた」の【据え付ける前にお読みください】	
5	コネクターカバーは確実に取り付いていますか? レバーは上がっていますか?	
6	集じん・脱臭一体型フィルターは、ポリ袋から取り出して取り付けましたか? ⇨ 裏面「据え付けかた」の【手順 1-3】	
7	フィルターホルダーの落防止ひものフックを本体に取り付けましたか?	
8	吹出口が透明カバーでおおわれていませんか? ⇨ 透明カバーを回して開口部を吹出口に合わせてください。	









こんなときは？

リモコンで操作できない

- 壁スイッチが「入」になっていますか?
- コネクターが接続されていますか?
  ⇨ 裏面「据え付けかた」の【手順 4-3】
- リモコンの電池は正しく挿入されていますか?
  ⇨ 取扱説明書 (8 ページ)
- リモコンと本体のチャンネルは合っていますか ?
  ⇨ 取扱説明書 (9 ページ)

空気清浄運転しても風が出ない

- 吹出口に手を当てて確認しましたか?
  ⇨ 吹出口の位置と風向のイメージ図は「据え付け場所」
- 透明カバーがずれて、吹出口をふさいでいませんか?
  ⇨ 透明カバーを回して吹出口に合わせてください。
  裏面「据え付けかた」の【手順 4-1】
- 集じん・脱臭一体型フィルターのポリ袋をはずして取り付けましたか?

空気清浄運転をすると「バサバサ」と音がする

- 集じん・脱臭一体型フィルターを取り付けましたか?
  ⇨ 裏面「据え付けかた」の【手順 1-4】
- 集じん・脱臭一体型フィルターのポリ袋をはずして取り付けましたか?

• 空気清浄入 / 切ボタンを押すと、「ピピピッ」と鳴って、空気清浄運転しない
• プラズマクラスターイオンランプ (青) ときれいモニター (橙) が点滅して、空気清浄運転しない

- フィルターホルダーを取り付けましたか?
  ⇨ フィルターホルダーを取り付けていないと、安全装置がはたらき、空気清浄運転しません。

• きれいモニター（赤）が点滅して空気清浄運転しない
• プラズマクラスターイオンランプ (青) が点滅する

- 空気清浄運転を停止し、電源 (壁スイッチなど) を切って 1 分ほどしてから再度空気清浄運転をしてください。
  空気清浄運転をしない場合は、お買いあげの販売店、または「お客様ご相談窓口」へご相談ください。

本体吊下金具のネジは再使用できるの?

- 本体吊下金具のネジはゆるみ防止剤 (茶色) を塗布しています。下記の場合は防止剤が取れて効果が低下しますので、新しいネジに交換してください。

【こんなときは新しいネジに交換してください】
- ネジの付けはずしを5回以上おこなったとき
- 長期間天井に取り付けた本体をはずして、別の場所に取り付けるとき（例 : 引っ越しなど）

【新しいネジはお買いあげの販売店でご購入ください】
ネジ (本体吊下金具専用) (1 本)　※2本ご購入ください。
流通コード : 280 970 0212　希望小売価格 : 420 円+税
(部品および価格は 2018 年 1 月現在のもので変更する場合があります)

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡、または重傷を負うおそれがある」内容。
⚠ 注意	「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■ お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけないこと。	❗ しなければならないこと。

⚠ 警告　火災や漏電、感電、大けがを防ぐ

据え付け時・試運転時・取りはずし時

- **据え付け、取りはずしは、説明書にしたがい確実におこなう**（火災・感電・落下・けがの原因）
- **据え付け、取りはずしの際は足場を確保し、安全に作業できるように注意する**（落下・けがの原因）
- **据え付け、取りはずしの際は電源（壁スイッチなど）を切る**（感電・けがの原因）
- **煙や焦げ臭いニオイなどの異常を感じたときや故障時は、すぐに使用を中止して電源（壁スイッチなど）を切る**（発煙・発火・感電・けがの原因）
  お買いあげの販売店、または「お客様ご相談窓口」へ点検・修理を依頼してください。
- **フィルターホルダーとフロントパネルを本体に確実に取り付ける**（落下・けがの原因）

- **改造はしない。また、修理技術者以外は、分解・修理をしない**（火災・感電・けがの原因）
  修理は、お買いあげの販売店、または「お客様ご相談窓口」へ依頼してください。
- **本体の上に乗ったり、ぶらさがったり、衝撃を与えない**（落下・けが・故障の原因）
- **吸込口・吹出口・本体のすき間に、指や棒、金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない**
  （感電・故障の原因）
- **本体に水を入れたり、水洗いしない**
  （本体内部に水が入り、感電･ショート･発火の原因）

電源・付属のアダプター

- **配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外では使わない。日本以外では使わない**
  （火災・感電の原因）
- **調光機能が付いた器具は使用しない。調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入／切スイッチに交換する**（火災の原因）
  販売店または工事店に交換を依頼してください。
  工事には資格が必要です。
- **がたついたり、破損している配線器具には据え付けない**（火災・感電・落下によるけがの原因）

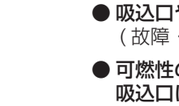
電源・付属のアダプター（つづき）

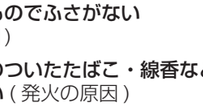
- **電線を傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだり、加工したりしない**（電源コードが破損し、火災・感電の原因）
- **ぬれた手で、コネクターを抜き差ししたり、アダプターを着脱しない**（感電・けがの原因）
- **付属のアダプター / コードケースと取付金具は本製品以外の用途には使用しない**
  付属のアダプター / コードケースと取付金具は本製品専用です。

据付場所

- **本体重量（約 8.5kg）と長期使用に十分に耐える場所に確実に据え付ける**（強度の不十分な所や取り付けが不完全な場合は、落下などによるけがの原因）
- **取付金具は補強材のある場所に確実に取り付ける。取り付け後は十分な強度で取り付けられていることを確認する**（落下によるけがの原因）

- **以下のような天井には取り付けない**
  （落下・けがの原因）


補強のない薄い天井（ベニヤ板、石膏ボードなど）

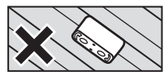


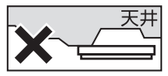
傾斜のある天井


配線器具を外部配線している天井



傾斜を合わせた舟底天井


桟のある竿縁天井



突出部や凹凸部がある天井


桟を組み合わせた格子天井

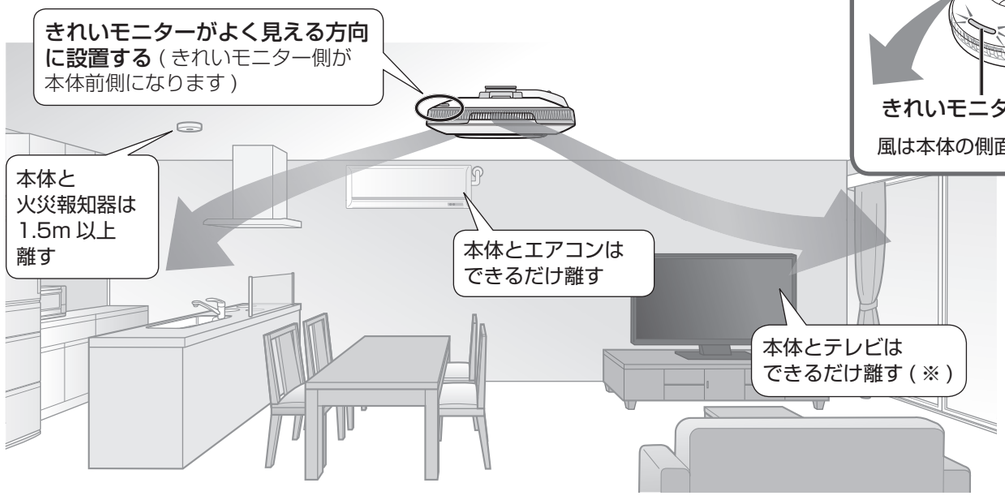
⚠ 注意　漏電やけがを防ぎ、財産を守る

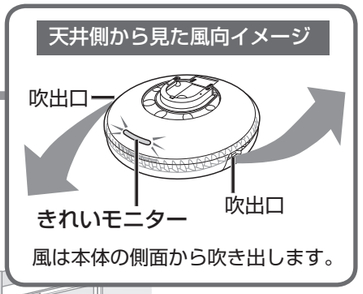
据え付け時・試運転時・取りはずし時

- **必ず付属のアダプターとネジを使用する**
- **アダプターを配線器具に必ず「カチッ」と音がするまで回し、確実に固定する**
- **必ずフィルター類を取り付けて運転する**
  （清浄効果が得られない。また、故障の原因）

- **天井以外には取り付けない**
  本製品は天井取り付け専用です。
- **点灯中や消灯直後しばらくは、本体が熱いので触れない**（やけどの原因）
- **吸込口や吹出口をものでふさがない**
  （故障・破損の原因）
- **可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを吸込口に近付けない**（発火の原因）

据え付け場所





（※）
本体の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ったり、電波時計が正しく時刻表示をしなかったり、他の機器のリモコンが効きにくくなることがあります。

⚠ 警告

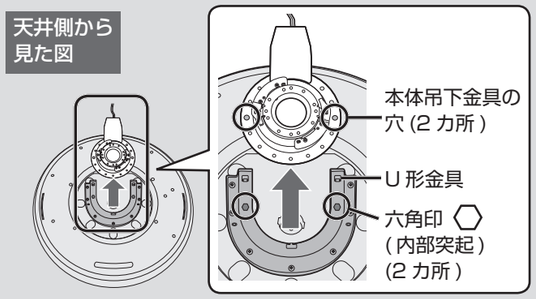
- **次のような場所には据え付けない**（感電・火災の原因）
  - ガスレンジなど炎の当たる所、引火性ガスのある所、雨や水しぶきなど水がかかる所、屋外、薬品（酸、アルカリ）を使う所、高温、多湿、油・ホコリ・金属粉の多い所。

据え付けかた（つづきが裏面にあります。裏面も必ずお読みください）

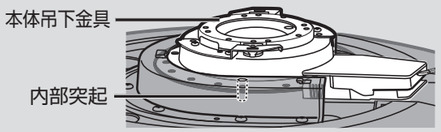
据え付ける前にお読みください

本製品は付属の本体吊下金具に、本体の U 形金具を差し込んで据え付けます。正しく据え付けると、U 形金具の内部突起が本体吊下金具の穴に差し込まれます。
据え付ける前に、内部突起と穴の位置を確認してください。

天井側から見た図

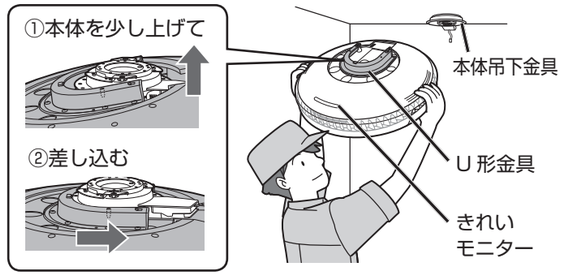


横から見た図



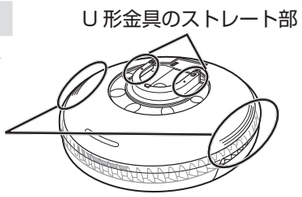
据え付ける前に、天井やタンスの上などのホコリを取り除いてください。
吹出口からの風で、ホコリが舞い散る場合があります。

本体の取り付けイメージ

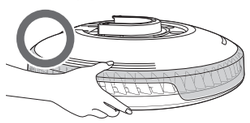


本体の持ち運びかた

右図の丸で囲んだ部分を持ってください。
左右の指がかりの溝がある部分



＜良い例＞



＜悪い例＞



ご注意
- 透明カバーを持たないでください。
  （破損の原因）

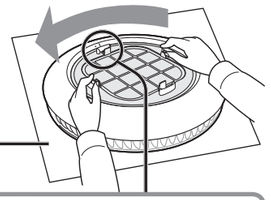
据え付けかた（つづき 1）

- 電源（壁スイッチなど）を切ってから据え付けてください。（感電・けがの原因）
- 付属品以外の部品は使用しないでください。（取付金具のネジは除く）
- しっかりとした台の上に乗って作業してください。

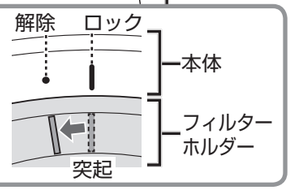
据え付け方法などの動画をご覧いただけます。
http://www.sharp.co.jp/qr/kc014

【手順 1】フィルターホルダーを取りはずして、フィルターを袋から取り出す

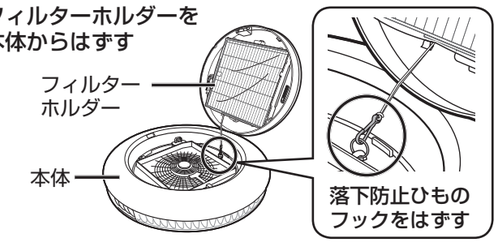
1 箱から本体を取り出し、フィルターホルダーを回して、ロック解除する



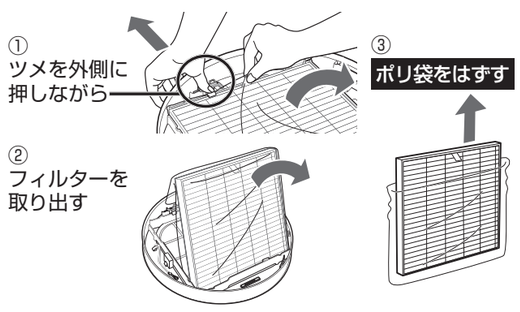
フィルターホルダーの突起を本体の「●」まで回す



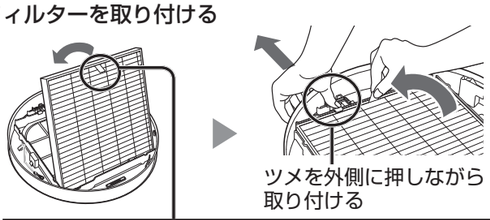
2 フィルターホルダーを本体からはずす



3 フィルターをポリ袋から取り出す



4 フィルターを取り付ける



タグのある面が見えるように取り付ける

- 裏表を逆に取り付けると清浄効果が得られません。



★本体の取付作業をおこないやすくするためフィルターホルダーは、はずしたままにしてください。

【手順 2】天井に本体吊下金具を取り付ける

1 以下の (A) と (B) を確認する

(A) 付属の取付金具を使用する場合
（取付金具の取り付けかたは表面「配線器具の確認」を必ずお読みください）
⇒ 1 の以下の部分と 2 はおこなわずに、3 に進む



(B) ハンガー付きの配線器具を使用する場合
⇒下図のように付属のゲージを当ててゲージが左右のハンガーを通過するかどうかを確認する



- **左右とも通過する場合** ⇒ 2 はおこなわずに、3 に進む
- **通過しない場合** ⇒ 2 **をおこなってから、**3 **に進む**

ご注意
- ゲージによる確認を確実におこなう（本体落下の原因）

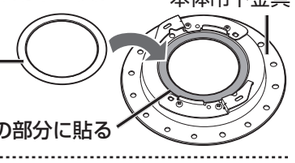
ゲージの当てかた

①ゲージをローゼットに垂直に押し当てたまま、
②ゲージをローゼットの前後方向に動かして、ゲージが左右のハンガーを通過できるかどうかを確認する

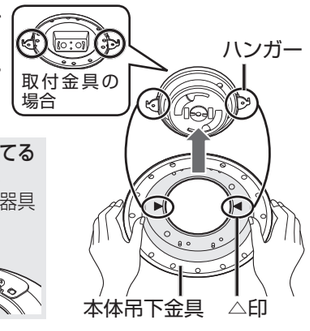


2 **1 でゲージがハンガーを通過しない場合のみ**

付属のスペーサーを本体吊下金具にしっかり貼り付ける



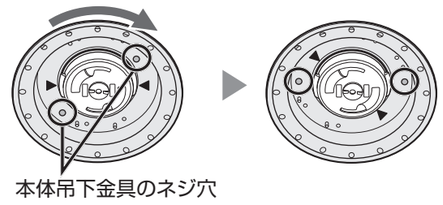
3 本体吊下金具の△印をローゼット（または取付金具）のハンガーに合わせて、天井に軽く押し当てる



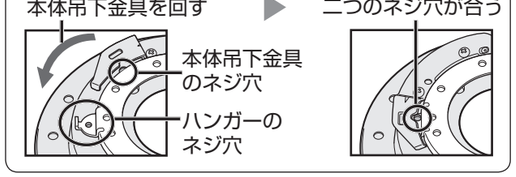
- **本体吊下金具を押し当てることができない場合は**
  図のグレー部分が配線器具や取付金具に当たっていないか確認してください。



4 本体吊下金具を図の矢印方向に回して本体吊下金具のネジ穴をハンガーのネジ穴に合わせる

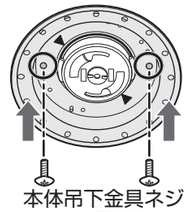


天井側から見た図



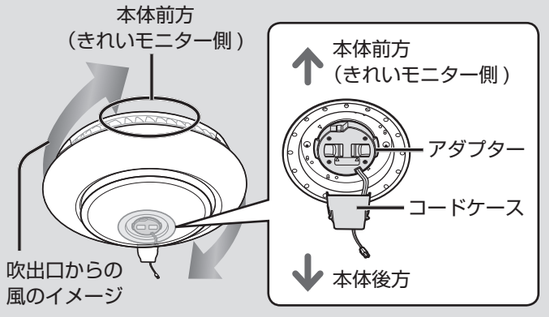
5 付属のネジ（2 本）で本体吊下金具を天井に固定し、がたつかないことを確認する

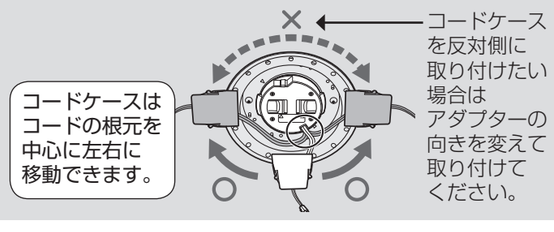
- 必ず付属のネジで確実に締めつけてください。
- 付属のネジはゆるみ防止剤（茶色）を塗布しています。詳しくは本書「こんなときは？」をお読みください。



【手順 3】アダプターとコードケースを取り付ける

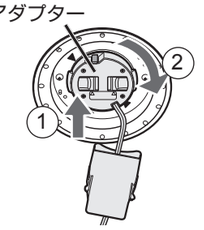
本体の据え付け方向は、アダプターとコードケースの位置で決まります。本体の据え付け方向に合わせて、アダプターとコードケースを取り付けてください。



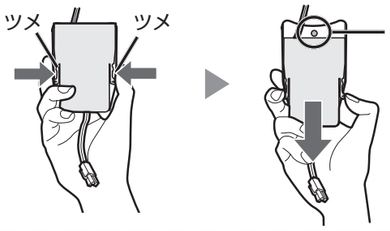


1 ①アダプターの金属のツメ（2 本）を配線器具の穴に差し込む

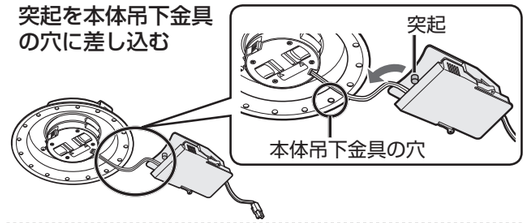
②アダプターを「カチッ」と音がするまで、図の矢印方向に回す



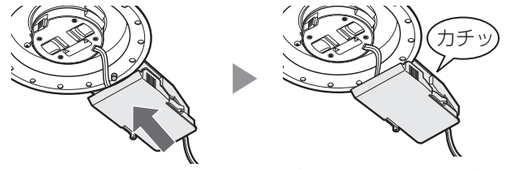
2 コードケースのツメを押しながら下げる



3 突起を本体吊下金具の穴に差し込む



4 コードケースの下側を矢印方向に「カチッ」と音がするまで動かす

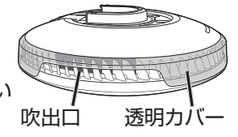


正しく取り付けると、本体吊下金具がコードケースの上下にはさまれます。

【手順 4】本体を据え付ける

1 本書「据え付ける前にお読みください」の図を参考に、本体の U 形金具を本体吊下金具にしっかり差し込む

据え付ける前に、吹出口が透明カバーでおおわれていないことを確認してください。



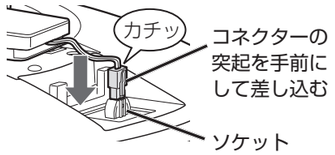
2 本体を左右に少し回して、本体が動かないことを確認する



本体がガタつく場合は U 形金具の内部突起が本体吊下金具に正しく差し込まれていません。本体の位置をもう一度調整してください。

据え付けかた（つづき 2）

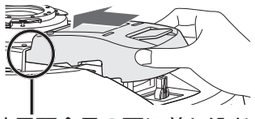
3 コネクターをソケットに差し込む



【手順 5】コネクターカバーを取り付ける

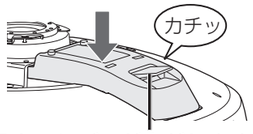
1

①コネクターカバーをコードケースにかぶせる



先端を本体吊下金具の下に差し込む

②コネクターカバーを「カチッ」と音がするまで押し下げる



正しく挿入すると、レバーが上がります

ご注意
- コネクターカバーは必ず取り付けてください。（取り付けないと本体落下の原因）
- コネクターカバーでコードをはさみこまないでください。（感電・故障の原因）

2

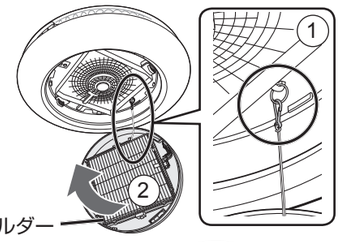
コネクターカバーを動かして、はずれないことを確認する

【手順 6】フィルターホルダーを取り付ける

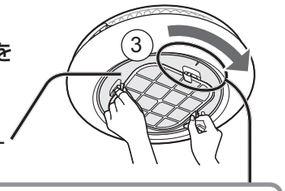
1

①落下防止ひものフックを本体につなぐ

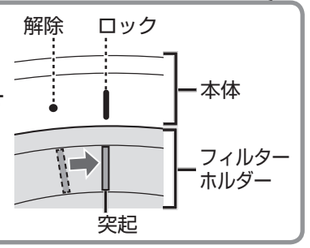
②フィルターホルダーを取り付ける



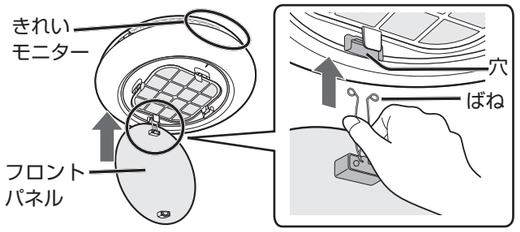
③フィルターホルダーを回してロックする



フィルターホルダーの突起を本体の「●」に合わせてから、本体の「❙」まで回す



2 フロントパネルのばねをつまんでフィルターホルダーの穴に差し込む



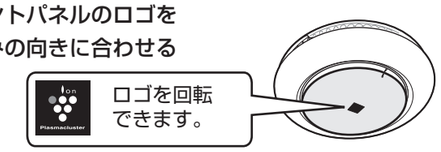
3 フロントパネルを閉じる



①ばねを奥まで差し込む

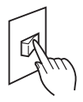
②反対側（磁石側）を閉じる

4 フロントパネルのロゴをお好みの向きに合わせる



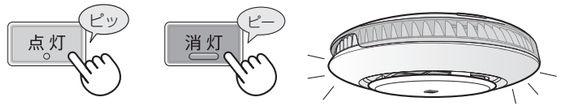
【手順 7】試運転をする

①電源（壁スイッチなど）を「入」にする



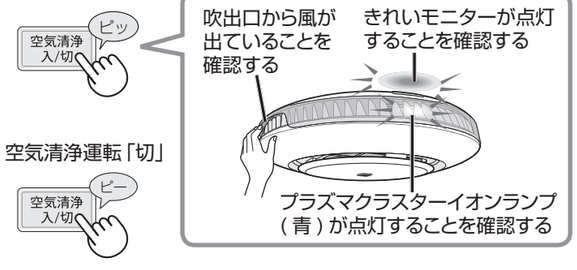
②リモコンに、付属の電池を入れる
（電池の入れかたは、取扱説明書（8 ページ））

③リモコンで、点灯／消灯を確認する



④リモコンで、空気清浄運転を確認する

空気清浄運転「入」



空気清浄運転「切」

取りはずしかた

本体は重いので慎重にはずしてください。

【手順 1】本体を天井からはずす

1

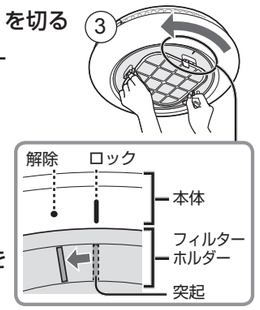
①電源（壁スイッチなど）を切る

②フロントパネルをはずす

③フィルターホルダーの突起を本体の「●」まで回してロック解除する

④フィルターホルダーをはずす

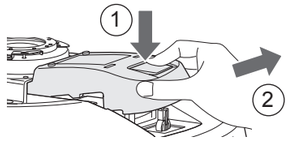
⑤落下防止ひものフックを本体からはずす



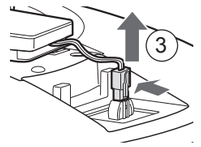
2

①コネクターカバーのレバーを押しながら

②はずす

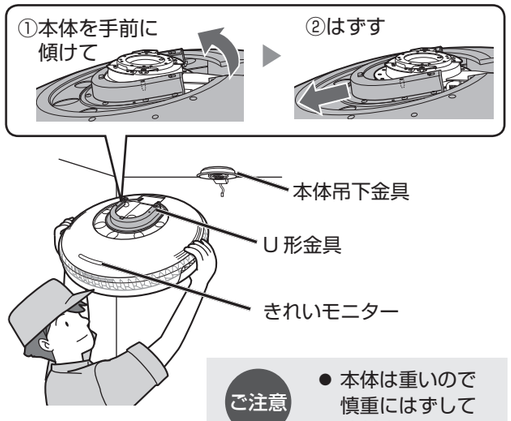


③コネクターのツメを押しながらはずす



3

きれいモニター側に移動してから、本体をはずす

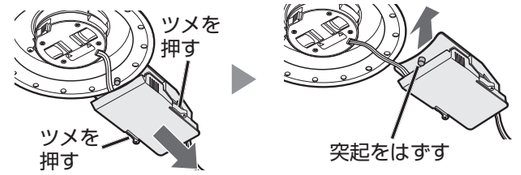


ご注意
- 本体は重いので慎重にはずしてください。（けがの原因）

4

①コードケースのツメを押しながら、図の矢印方向に引く

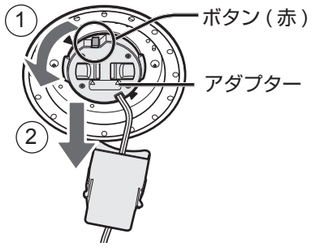
②コードケースの上側を少し持ち上げてはずす



5

①アダプターのボタン（赤）を押しながら、図の矢印方向に回す

②アダプターをはずす

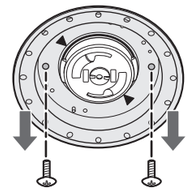


【手順 2】本体吊下金具を天井からはずす

1

本体吊下金具のネジ（2 か所）をはずす

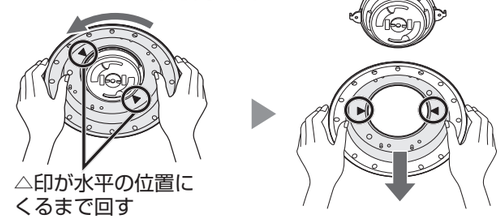
- 付属のネジはゆるみ防止剤（茶色）を塗布しています。詳しくは本書「こんなときは？」をお読みください。



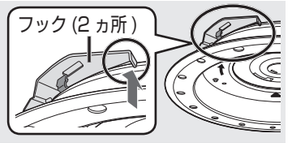
2

①本体吊下金具を押し上げながら図の矢印方向に回す

②はずす



- 回しにくいときはフック（2 カ所）を押し上げながら回してください。



本体の向きの変えかた

吹き出し方向を変えるときは、本体を天井からはずして、本体の向きを変えてから据え付け直します。

①本体を天井からはずす
（「取りはずしかた」の【手順 1】をおこなう）

②アダプターとコードケースを設定したい吹き出し方向に合わせて付け直す
（詳しくは「据え付けかた」の【手順 3】をお読みください）

③本体を据え付ける
（「据え付けかた」の【手順 4】～【手順 6】をおこなう）